

2025年 11月 2日 (日)

🔔 最新ニュース 🔔 ドラフト会議 🔔 川崎市長選挙 🔔 戦後80年 🔔 新聞2週間試読

川崎市長選挙

川崎市長選挙、最終日の訴え 26日投開票 秋雨の下、市政への思い言葉に

川崎市長選挙 選挙

選挙 | 神奈川新聞 | 2025年10月25日(土) 23:20

川崎市長選の選挙戦最終日となった25日、各候補は人の往来が多いターミナル駅などに繰り出し、有権者に最後の訴えを届けた。雨がそぼ降る肌寒い悪天候の中、それぞれが市政への熱い思いを言葉に込め、14日間にわたる論戦を締めくくった＝届け出順。(川崎市長選取材班)

◆おことわり 川崎市長選に立候補している宮部龍彦氏については、経歴や出馬に当たっての主張に著しい差別的言動があり、差別が拡散する恐れがあるため、異なる扱いとしております。

國谷涼太氏(25) 若さ全面駆け抜ける



國谷涼太氏

「最後に何をしたいか。25歳の自分にしかできないことで覚悟を伝えたい」

最年少候補の会社員、國谷涼太氏は最終日の演説場所のスタート地点に川崎市役所を選ぶと、JR南武線や小田急線など市内の主要駅や各区役所など「25」拠点を自らの足で駆け巡りながら政策を訴えた。

「子どもたちが夢と希望を持ち、いつまでも川崎で暮らせるように。誰よりも責任ある世代として、皆さんと一緒に川崎をさらに前に進めてまいります」

これまで駅頭を中心に選挙戦を展開し、市内の55駅で市民と向き合ってきた。早大時代の同級生や後輩、会社の知人らがボランティア活動にも加わり、全世代への浸透を図ってきた。

「皆さんの力強い1票をよろしくお願いします」

最後は地元でもあり、政治家を目指すきっかけとなった演説を聴いた新百合ヶ丘駅でマイクを納めた。

野末明美氏（60）市民寄り添うまちへ



野末明美氏

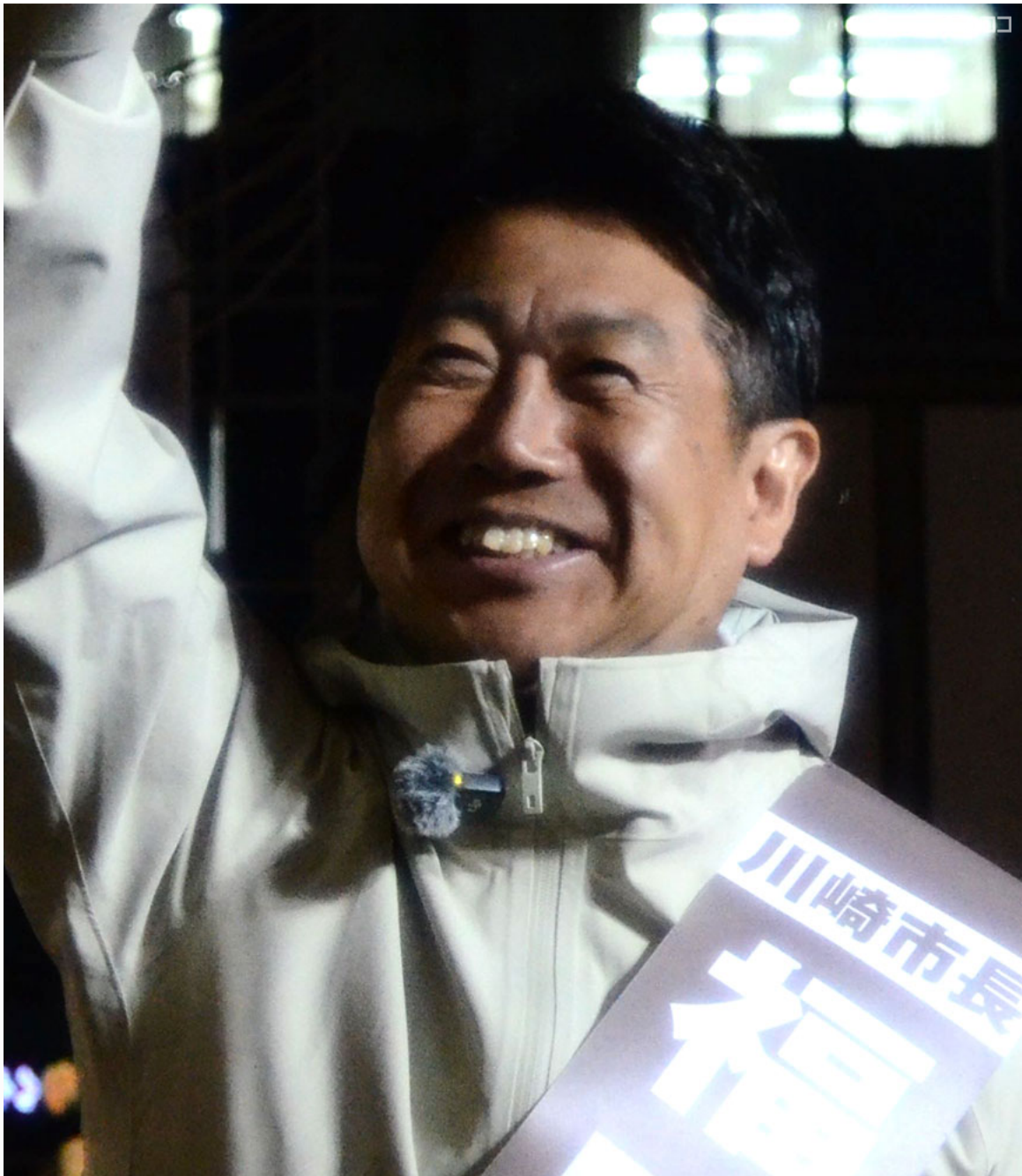
「市民生活最優先。市民の声を聞き、市民生活に寄り添う川崎を市民の方々と共につくっていく」。政党役員の野末明美氏＝共産党推薦＝はＪＲ川崎駅周辺でマイクを握り、「市民」を繰り返した。

中学校までの学校給食費ゼロや市営住宅の増設、多摩川の水害危険箇所の安全対策推進－。市民の声に耳を傾けて練り上げた３８の政策を打ち出してきた。

告示日以降は寒暖差の影響で風邪をひき、声がかれることもあったが、「川崎の未来を切り開き、希望あることをマイクを通して語ることは楽しい」と街頭に立ち続けた。「正しいことを主張することで応援してくれる声も増えた」と自信をのぞかせる。

演説中は「財政力は政令市トップ」と書かれた看板を持つ。「物価高騰の今だからこそ、市民生活のために使う川崎市に変えたい」と声を張り上げた。

福田紀彦氏（５３）公約訴え盤石を証明



福田紀彦氏

川崎市の中心に位置するＪＲ武蔵溝ノ口駅近くで、選挙戦最後の演説をしたのは現職の福田紀彦氏だった。これまでの政策や新たな公約を盛り込みながら、最後は多選批判を念頭に「情性でやるんだったら、１期目でも、２期目でもすぐ辞めた方がいい。私にはやりたいこと、やらねばならないことがたくさんあります」。市政継続に理解を求めると拍手が降り注いだ。

この日は新百合ヶ丘駅を皮切りに、登戸駅、武蔵溝ノ口駅で最後の訴えを届けた。イメージカラーの茶色のスタッフジャンパーを着込んだボランティアスタッフが

公約をまとめたピラを配り、次の4年後を見据えた政策の浸透に力を注いだ。「これから仕事をするために、多くの人たちに知ってもらわないといけない」。視線を未来に向ける福田氏は言った。「引き続き市政を担わせていただくように心からお願い申し上げます」

山田瑛理氏（42）まちのために尽くす



山田瑛理氏

元川崎市議の山田瑛理氏は選挙戦最終日をJR川崎駅中央西口からスタート。選挙カーで地元の川崎区内を中心に回り、午後7時半頃からは同区にある町内会館前でマイク納めをした。

「特定政党の支援もなく、裸一貫で手を挙げて挑戦した」と14日間を振り返り、「まちの政策や現状に対するいろいろな声を聞いた。101年目を迎える今だからこそ、市民の声を反映する市政作りをしていきたい」と力強く語った。

「市民の今に応えたい」と自民党を飛び出し、無所属で市長選に挑んだ。期間中は市内の各駅などを巡るだけでなく、交流サイト（SNS）での発信に注力。投稿などの反響を積み重ねた「アクション」数で反応を可視化し、幅広い世代に訴え続けた。

最後の訴えに立ち、支持者らに固く誓った。「まちのため、川崎のために、尽くしていくことを約束します」

関口実氏（67）排外主義にあらがう



関口実氏

清掃員の関口実氏はJR川崎駅周辺などでマイクを握り、「腐った世の中を掃除しよう」と拳を握り、繰り返し声を上げた。

腰や首に痛みを抱え、薬を服用し、時に疲労で立ちくらみながらも電車を乗り継ぎ街頭に立ち続けた。自主サイトの更新や演説準備を夜通し行い、「机に伏して寝る毎日。よく眠れていない」と打ち明ける。

自閉スペクトラム症（ASD）を公表し、「障害がある人を勇気づけられたら」と語っていたが、街頭で応援の声をかけられる機会は多く、わざわざ足を運んでくれた人にも出会った。「逆に励まされ、勇気もらった」と頬を緩ませる。

「差別も戦争もない平和な世の中を実現しよう」。訴え続けた原点には「右傾化や排外主義に全力であらう」という信念がある。「多様な人々が幸せに生きることが出来る社会を目指そう」と声高らかに誓った。

この記事にも注目



20万票差で大敗...現職の背中ほど遠く 街頭に立ち続けた2人の女性候補 川崎市長選挙 決戦を振り返る



鎌倉市長選で当選の松尾崇氏 5期目で抱負「スピード感を持ってやる」 鎌倉市長選挙



青空集会130カ所とSNS 4選の現職、デジタルとアナログの両輪で浸透 川崎市長選挙 決戦を振り返る



川崎市長選で当選の福田紀彦氏 4期目も「新しいチャレンジ」表情引き締め 川崎市長選挙



川崎市長選挙の出口調査、無党派層の6割が福田氏支持 年代、区別でも浸透 川崎市長選挙



川崎市議補選で当選の菅谷英彦氏「地元の声、応えたい」 当選証書手に決意 川崎市議会議員補欠選挙(川崎区)



5選の鎌倉・松尾市長 庁舎移転計画は「スピード感持って」 2庁舎体制へ 鎌倉市長選挙



川崎市議補選、自民・新人の菅谷英彦氏が当選 47歳、元衆議院議員秘書 川崎市議会議員補欠選挙(川崎区)



栗原絵里子氏「やれることはやった」 庁舎移転反対、準備不足で劣勢覆せず 鎌倉市長選挙

こんな記事も読まれています



【来場プレゼントあり】11月29日(土)「初心者におすすめ! 今日から始めるマネーセミナー」

PR(アクサ生命保険株式会社)



横浜マラソン、冷雨に負けずランナー笑顔 新設「湾岸ハイウェイラン」も



主力バン生産終了の日産車体湘南工場 最盛期知る元工員「隔世の感ある」



黒岩知事「多選批判、随分変わってきた」 川崎と鎌倉市長選挙の結果に所感



「5時間睡眠の人、絶対見て!」TV出演中医師がおすすめの爆睡法が超話題!

PR(株式会社和漢)



ついに判明! 「歩く力が弱くなる本当の理由」70代でも1日3秒でOK

PR(株式会社全日本通販)



「上向き寝」やめて。腰悪くなるの、実は...

PR(株式会社 ハーブ健康本舗)



たばこ税にサヨナラ。年間10万円以上浮く人も

PR(株式会社HAL)

Recommended by **UZOU**

横浜マラソン、冷雨に負けずランナー笑顔 新設「湾岸ハイウェイラン」も

家の価値って今いくら? 本気で悩んでいる人へ

PR(株式会社Speed)

「5時間睡眠の人、絶対見て!」TV出演中医師がおすすめする1日5秒の爆睡法が超話題!

PR(株式会社和漢)

整形外科医が暴露「足腰を悪くする衝撃理由」ウォーキング、実は...

PR(株式会社ハーブ健康本舗)

小田原市教委、学区外通学制限へ 市街地の学校に児童集中、その背景は

黒岩知事「多選批判、随分変わってきた」 川崎と鎌倉市長選挙の結果に所感

「株で20年無敗」野村證券OBが教えるスゴい投資術

PR(株式投資3.0)

神奈川の私立中学校と高校、2026年度の募集人員を発表

主力バン生産終了の日産車体湘南工場 最盛期知る元工員「隔世の感ある」

医師が暴露「膝が悪い時の正しい対処法」70代は絶対やって

PR(株式会社 ハーブ健康本舗)



黒岩知事「多選批判、随分変わってきた」 川崎と鎌倉市長選挙の結果に所感



実は昔脱いでいた女優30選！あの国民的女優も



神奈川の私立中学校と高校、2026年度の募集人員を発表



「軟骨がすり減っています」シニア女性のヒザは簡単。納豆やめた

PR(Original New)

PR(株式会社 ハーブ健康本舗)



「持ち家売る時のNG行為」知ってるだけで得する事とは



横浜マラソン、冷雨に負けずランナー笑顔 新設「湾岸ハイウェイラン」も



「株で20年無敗」野村証券OBが教えるスゴい投資術



主力バン生産終了の日産車体湘南工場 最盛期知る元工員「隔世の感ある」

PR(株式会社Spee)

PR(株式投資3.0)

Recommended by **UZOU**

編集部のおすすめ



アクセスランキング

- 1



動画

横浜の路上で車が炎上 「車両が燃えている」と119番、消防局が消火活動
- 2



茅ヶ崎に新商業施設、11月27日開業 駅前のヨーカドー跡地に35店舗
- 3



川崎市長選挙

川崎市長選挙 福田紀彦氏が圧勝で4選 過去最多6人の争い制す
- 4



相模原の山に描かれた「緑のラブレター」 設置36年、修繕費の寄付募る
- 5



川崎「カベル洋菓子店」38年の歴史に幕 地域の暮らし彩った人気店
- 6



川崎の県立高校、96人が腹痛や下痢の症状 0157か、生徒15人入院
- 7



横浜市内の県道交差点でひき逃げ 神奈川県警、容疑の男を逮捕
- 8



横須賀の市道で路線バスとぶつかる 60代男性が軽傷
- 9



レイシャル・プロファイリングを考える（上）

突然の逮捕 警察官10人取り囲み、強い口調で問いかけ むしばまれた尊厳
- 10



川崎・宮前区の県道 オートバイとワンボックス車が衝突、教員の男性死亡

レイシャル・プロファイリングを考える（上）

広告 Yahoo!不



会社案内	+
投稿	+
新聞	+
デジタルサービス	+
広告	+
出版物	+
主催イベント	+
各種サービス	+

